



諏訪ユネスコ通信

発行日

平成 29 年 7 月 31 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

編集委員会

諏訪ユネスコ協会

第 19 号



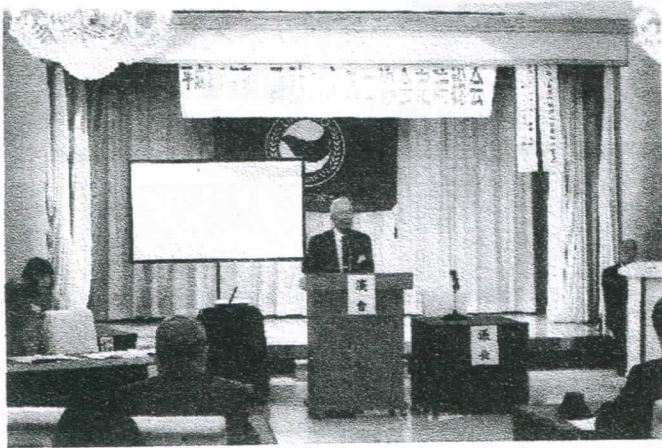
赤岳・中岳・阿弥陀岳

挿絵：谷澤信憲

八ヶ岳連峰主峰赤岳 (やつがたけれんほうしゅほうあかだけ) 標高 2,899m

本州の中央部に、南北に長く連なって群立し、一大山群を形成しているのが八ヶ岳連峰です。一般的には八ヶ岳と称されています。八ヶ岳連峰は、一連の火山の噴出によってできた連峰です。その為、山群事態は独立性が強い。赤岳は、八ヶ岳連峰の 8 つかそれ以上ある山頂の内の最高峰です。その名の通り、赤っぽい色の山肌で、山容も美しいです。

平成29年度定時総会が開催される



平成29年度定時総会が5月22日(月)午後3時より諏訪市「ベルファイン」で行われた。会員63名中、出席35名、委任状21名、来賓に後藤茂之衆議院議員(代理・明美夫人)の他、諏訪郡下4市町村の教育長が出席した。

第一部 [総会]

平成28年度事業報告・決算報告・監査報告が承認された。矢崎会長はあいさつで、諏訪ユネスコ協会のホームページを立ち上げたこと、茅野市永明小学校が4月21日に「ユネスコスクール」に認定されたこと、来年度の中部東ブロック大会の会場が諏訪に決定したことを発表した。



また、書き損じハガキの回収では、諏訪6市町村の児童・一般から7,510枚を切手に交換348,751円の協力が得られたことが報告された。引き続き、平成29年度事業計画案、収支予算案が審議され、全会一致で承認された。



第二部 [公開講座]

講師に公益財団法人ボーイスカウト日本連盟・リーダートレーナーの鈴木純一氏を招いて「自然体験は心と体の栄養」と題する講演が行われた。





子供の発達には様々な体験と刺激が必要であり、中でも自然体験が最も大きな影響を与える。自然そのものを体験することによって、自然の仕組みや不思議、人知の及ばない大きさと畏敬の念を持つことに身をもって知ることができるわけである。また、自然の中で色々な体験（例・マキを拾ってきてご飯を炊くなど）

鈴木氏は群馬県生まれ、4歳で東京・千代田区に移住、皇居で魚や虫捕りをした体験が後の人生に大きな影響をもたらしたという。小学校4年のときに千葉県船橋市へ移住してボーイスカウトに入団。以来55年間にわたって、人生の大半をボーイスカウトとともに歩んできた。現在は茅野市に在住している。



を行うことにより、新しい発見や自己の知識技能の向上へつながって行く。そして人間力と生きる力を身につけて行くのである。

そうした自然体験活動を通して、子供たちが社会を尊重し、社会の一員であることを自覚し、人間形成を培って行く。このようにして青少年の成長に寄与する社会教育運動がボーイスカウトである。



その意味でも、彼らの健全な成長のために、自然体験の機会を積極的に推し進めていくことが大切だ。子供たちの個性や年代に合わせた適正な自然体験活動は、彼らの心と体の成長に必要な栄養であると言えよう。子供たちが良き社会人として、次の時代を担う優れた人材として成長することを支援し、見守って行く必要が我々大人にあると考える、と述べて話を結んだ。

第三部 [懇親会]

講師の先生を交えながら、来賓・会員との交流が和やかに行われ、平成29年度の事業活動への取り組みを誓いあった。

最後に「ユネスコの歌」を全員で斉唱して、盛会のうちに終了した。



諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔清掃の実施

本年度第1回目は6月8日(木)午前9時より梅雨入りした小雨模様の中、会員多数が参加して諏訪市石彫公園一帯の清掃を行った。

公園一帯には特定外来植物のヒメジオン・ブタクサが生えており3,000㎡に渡り刈り取りを行った。湖畔に打ち寄せられたポリ袋・ペットボトルなど可燃物約30kg、ビン・空き缶など不燃物約5kgを回収した。



第2回目は7月13日(木)午前9時より諏訪湖花火大会準備期間前と夏の観光シーズンを控えた時期を選んで実施。前夜からの雨も上がり作業開始時期には雲間より朝日がさす中に行われた。

石彫公園の中には花火の残骸も見受けられた。前回多数見かけたヒメジオンは前回の刈り取りの効果か、ほとんどなかった。

ペットボトルなど可燃物75kg、ビン・空き缶など5kgを回収した。



諏訪地区6市町村のユネスコ担当者会議



6月20日(火)午後4時より「ゆいわーく茅野」の集会室にてユネスコ担当者会議が開かれた。各担当者にユネスコ活動の理解並びに協会への協力を依頼した。来年度6市町村教育委員会の当番は富士見町。来年度予定の中部東ブロック諏訪大会の予算関係は9月の議会前までに申請することが必要との説明があった。

茅野市立永明小学校がユネスコスクールに認定される



2年余り前から加盟申請していた永明小学校がパリのユネスコ本部において4月21日付けで正式に認定された。諏訪地域で初めて、県下で5番目の学校となる。7月10日児童代表、校長、PTA会長、協会正副会長が市長・教育長に報告した。

(写真は市民新聞社提供)

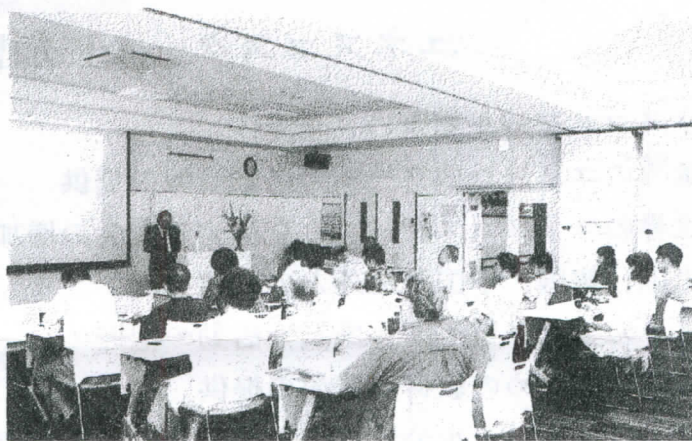
地域遺産部会

笹沢 浩先生の講演会が開催された

演題 「諏訪縄文中期文化の先駆け原村阿久遺跡」

講師 笹沢浩先生 元阿久遺跡発掘調査団調査主任

7月15日(土)「ゆいわーく茅野」にて講演会を行った。会員以外の方も多数参加された。暑い中参加者は熱心に耳をかたむけた。講師の笹沢先生は直接阿久遺跡を発掘された方で、高齢にもかかわらず熱のこもった講演をされた。



講演会のお知らせ

期 日：2017年8月26日(土) 午後2時～4時
会 場：茅野市立永明小学校 茅野市塚原1-7-40
講 師：山崎哲秀氏(犬ぞり北極探検家)
演 題：「北極圏をテツがゆく」

聴講無料

ユネスコスクールとは

ユネスコスクールは、1953年、ASPnet(Associated Schools Project Network)として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。世界182か国で約10,000校がASPnetに加盟して活動しています。日本国内では、2017年4月現在、1043校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。日本では、ASPnetへの加盟が承認された学校を、ユネスコスクールと呼んでいます。

ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。

長野県では山之内町立東小学校、高山村立高山小学校、山ノ内町立西小学校、山ノ内町立南小学校について永明小学校が5番目の加入となります。中学校は信州大学教育学部附属松本中学校、山之内町立山之内中学校、高山村立高山中学校の3校のみ。高校は中野西高等学校、長野西高等学校の2校。

ユネスコスクールの活動目的

- ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワークの活用による世界中の学校との交流を通じ、情報や体験を分かち合うこと
- 地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと

ユネスコスクールに加盟すると・・・

○ユネスコスクール加盟のメリット

- *世界のユネスコスクールの活動情報の提供
- *世界のユネスコスクールと交流する機会の増加
- *米国、韓国、中国等海外との教員交流
- *世界の教育事情、国連機関の活動の把握
- *ESDのための教材、情報の提供
- *ユネスコスクール公式ウェブサイトを通じた情報交換
- *ワークショップ、研修会への参加
- *国内の関係機関との連携強化

○ユネスコスクールはESDの推進拠点

- *ESD=Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)

今世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

1. 本部会

(1) 諏訪地区教育委員会のユネスコ担当者について (敬称略)

原村…三井洋一 諏訪市…矢崎博之 茅野市…渡辺雄一
富士見町…小池みさき 岡谷市…高橋卓 下諏訪町…教育総務係

(2) 役員の変更・選任について

・新年度役員を選任した (総会にて承認を得る)。

牛山俊…顧問 木村紀穂…副会長 高林徳枝…監事

新理事…五味功(茅野市) 田村真理(茅野市) 金子田美(諏訪市)

(3) 総会準備について

① 役割分担

総会進行…濱三千治 (副会長) 議長…矢崎靖雄 (会長)

総会成立宣言…安藤理恵子 (事務局長)

公開講座…矢崎靖雄 (会長) 懇親会司会…木村紀穂 (理事)

懇親会終わり挨拶…玉舎興三郎 (理事)

事業報告・事業計画…各部長 会計報告…金子勝弘 (会計)

予算案…安藤理恵子 (事務局長)

② 平成 28 年度、事業報告・会計報告

平成 29 年度、事業計画・予算案について各部長より報告。

・予算案は 5 月 6 日に三役で作成する (総会出席人数確認後)

③ 公開講座について……矢崎会長が進行・講師紹介等行う。

④ 懇親会について……会費 4,000 円 (昨年同様に行う)

⑤ 総会通知の発送について

会員・来賓・6 市町村教育委員会・ユネスコ担当者・報道関係

* 早速、出欠確認の返信はがきを同封し郵送する。

2. 寺小屋部会

「書き損じハガキの回収」について

最終集計	ハガキ	7,510 枚	348,751 円
------	-----	---------	-----------

	その他		44,392 円
--	-----	--	----------

	総計		393,143 円
--	----	--	-----------

・本年度は 4 高校に協力を依頼したが、増やしていったら良いのではとの意見が出された。

・来年度は、第 1 回目の寺子屋部会を早くしてほしいとの意見があった。

3. 地域遺産部会

講演会について

・6 月頃に行う予定で講師と話を詰めているとの報告があった。

4. 広報部会

ユネスコ通信 18 号発行について

・本日、担当者に持ち帰り配布していただく様に依頼した。

5. その他

次回理事会…… 5月11日(木)「ゆいわーく茅野」6時30分～

総会会場にて打ち合わせ…… 5月19日(金)「ベルファイン」5時

総会資料作り…… 5月17日(水)「ゆいわーく茅野」1時30分～

第2回理事会(76回)平成29年5月11日(木) 午後6時30分

*本年度より役員改選により新理事4名が加わった。

議題に入る前に自己紹介を行った。

新理事：金子田美・五味功・田村真理・川合双葉

1. 平成29年度定時総会について

(1) 総会資料について

・皆で目を通し、訂正箇所・加筆等検討した。

(2) 会員名簿について

・名簿の再確認を行った。

・1名郵便物が戻ってきてしまう会員がいたため、改めて住所確認を依頼した。

(3) 総会出欠席について

・現段階において、出席36名・委任状22名の確認ができています。

(4) 総会準備品等について

・看板・掲示物等の確認を行った。

・総会会場の横断幕は昨年同様会長に依頼した。

(5) 総会の役割分担の確認

・各役割分担の再確認を行った。

・来賓祝辞は顧問の矢崎和広様、金子ゆかり様が欠席のため、衆議院議員：後藤茂之様、茅野市教育長代理：有賀淳一学校教育課長の2名となった。

(6) ベルファインとの事前打ち合わせ(下見)について

日時… 5月19日(金) 午後5時～

・会場の配置、備品等についての打ち合わせ。

・掲示物の持参… 掲示場所の確認をする。

・総会資料・ユネスコ旗・ユネスコ歌CD・来賓リボンの持参。

(7) その他

① 諏訪ユネスコ協会会則の確認をおこなった

・第3章 第8条 1(C)理事7名以上10名以内を7名以上13名以内と改正(すでに理事会にて承認済み)。

・付則の賛助会員規約を廃止(平成29年5月11日、理事会にて承認済み)する旨を記載する。

2. 地域遺産部会

講演会について

・日 時… 7月16日(日) 午後2時から

・場 所… 「ゆいわーく茅野」 3F：集会室

・講 師… 笹沢 浩氏：長野県文化財保護審議会委員

詳細は後日決定する旨、部会長より報告された。

3. その他

第3回理事会……6月6日(火) 6時30分～

第3回理事会(77回) 平成29年6月6日(火) 午後6時30分

1. 平成29年度 定時総会について(総括)

(1) 総会事前準備・当日の役割分担等について

- ・受付・接待係等を事前にきちんと決めておいたほうが良い。
- ・懇親会の形式は今回の様でよかった。
- ・来賓の方の案内・接待を徹底させる事。

(2) 総会欠席者への総会資料送付について

- ・すでに送付済み。

(3) 総会懇親会経費の報告…金子会計担当より行い承認された。

2. ユネスコ協会連盟への提出書類について(7月15日締め切り)

- ・6月30日の会費納入状況を見て会計が会費の納入をする。

3. 地域遺産部会…講演会について

- ・日時 7月15日(土) 午後2時より
- ・場所 「ゆいわーく茅野」3階
- ・講師 笹沢 浩氏
- ・案内 ポスター・チラシ・新聞等

6月20日に6市町村
のユネスコ担当者を交
え打ち合わせを行う。

4. 本部講演会について

- ・日時 8月26日(土) 午後1時より
- ・場所 「ゆいわーく茅野」3階
- ・講師 山崎 哲秀氏
- ・演題 「北極探検」(未定)

5. ユネスコスクールについて

- ・今後の取り組み
 - *フランスのユネスコ本部より認可がおりた為「ユネスコスクールプレート」の来るのを待って贈呈式を行う事を検討する。
 - *今後のユネスコスクールへの関わりをどの様にしていくか課題。

6. 「2017 中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 厚木」について

- ・9月2日(土) 3日(日)
 - *来年度の大会に備え、理事・会員の大勢の参加を呼び掛ける。

7. 「2018 中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 諏訪」について

- ・組織
 - ・期日
 - ・会場……RAKO 華乃井ホテル
- 3役で案を作り理事会に掛ける

8. その他

次回理事会 7月6日(木)

第4回理事会(78回) 平成29年7月6日(木) 午後6時30分

1. 地域遺産部会講演会について

- ・日時 7月15日(土) 午後2時より

- ・場所 「ゆいわーく茅野」3階：集会室
 - ・講師 笹沢 浩氏（千曲市文化財保護審議会委員）
 - ・演題 「諏訪縄文中期文化の先駆となる原村阿久遺跡（国史跡）」
 - ・案内 ポスター・チラシ等の準備、配布先、印刷部数
6市町村の学校関係・役所関係・その他
*講師紹介・進行は清水部会長が行う。
*スライド使用での講演からパワーポイント使用に変更。
*理事集合…12時30分。
2. 本部会&環境問題推進部会講演会について
- ・日時 8月26日（土） 午後2時より
 - ・場所 「ゆいわーく茅野」3階：集会室
 - ・講師 山崎 哲秀氏
 - ・演題 「北極探検をテツがゆく」
 - ・案内 ポスター・チラシ等…6市町村の学校関係・役所関係・その他
*講師紹介…矢崎会長 進行…濱副会長
*理事集合…12時30分
3. ユネスコスクール、これからの取り組みについて
- ・永明小学校がユネスコスクールに認定されたため、関連している永明中学校にもユネスコスクールとして登録を、お願いしたいとの意向を会長が示された。
4. 「2017 中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 厚木」について
- ・7月14日までに参加人数を取りまとめる（なるべく大勢の参加を募る）。
 - ・交通手段…乗用車
5. 「2018 中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 諏訪」について
- ・組織……6市町村にも協力依頼をする。
 - ・期 日……9/29・30 10/6・7 10/13・14 が候補日
 - ・会 場……「RAKO 華乃井ホテル」
 - ・講 師……諏訪中央病院「鎌田先生」を検討中
*日程を早急に決める（ユネスコ協会本部・県知事・講師との調整が必要）
*資金の協力をしていただく企業を探す。
*組織つくりを早急に行う。
6. その他
次回理事会 7月27日（木）

『中部東ブロック大会・ユネスコ活動研究会 in 厚木』開催案内

「テーマ」「Action!」～今日から私たちにできること～
期 日：2017年9月2日（土）～9月3日（日）
会 場：「レンブラントホテル厚木」